

# 平成24年度第2回リニモ沿線地域づくり会議 会議録

(文責：事務局)

日時：平成25年3月18日（月）午前10時～

場所：愛知県立大学 学術文化交流センター

多目的ホール

## 1 出席者

### 〈委員〉

愛知学院大学事務局長	内田友宏
名古屋商科大学事務局長	栗本博行（代理：亀倉正彦）
瀬戸市まるっとミュージアム・観光協会会長	鈴木政成
愛知淑徳大学メディアプロデュース学部准教授	清水裕二
名古屋市立大学名誉教授	瀬口哲夫
豊田商工会議所専務理事	土居友二
愛知県公立大学法人本部事務局次長兼総務部長	長谷川好喜
愛知県立大学教育福祉学部准教授	松宮 朝
愛知工業大学事務局長	三輪博美（代理：井沢清人）
あいち尾東農業協同組合代表理事組合長	吉田濱一（代理：石黒秀一）

### 〈オブザーバー〉

名鉄バス株式会社運輸部部长兼運輸課長	加藤直樹（代理：吉岡実）
愛知高速交通株式会社総務部長	澤田法明
愛知環状鉄道株式会社常務取締役総務部長	羽根田泰男

## 2 次第

開 会

1 あいさつ

2 議題

(1) 愛知県・沿線市の取組について

(2) リニモ沿線地域づくり活動支援事業の成果発表（実施グループからの報告）

3 その他

閉 会

## 3 会議資料

- ・出席者名簿
- ・配席図
- ・資料1 リニモ利用者数の推移（愛知県）

- ・資料 2 平成 24 年度第 1 回リニモ沿線地域づくり会議における委員提言・要望への対応状況
- ・資料 3-1 愛知県の実組状況（愛知県）
- ・資料 3-2 リニモ沿線地域づくりの状況（瀬戸市）
- ・資料 3-3 八草地区周辺整備に関する取組状況（豊田市）
- ・資料 3-4 北のエントランス（仮称）日進東口論議土地区画整理事業（日進市）
- ・資料 3-5 リニモ沿線地域づくりの状況（長久手市）
- ・資料 4 リニモ沿線地域づくり活動支援事業 成果報告
  - 資料 4-1 モリコロパーク de 地元グルメ（一般社団法人仕事ノアル暮らし）
  - 資料 4-2 リニモ沿線合同大学祭（リニモ沿線合同大学祭実行委員会）
  - 資料 4-3 ゆめのノリモノ～世界の子ども絵画展～  
(NPO 法人フィールド・ザ・ワールド)

#### 4 議事内容

(開会)

##### ○事務局（愛知県地域政策課）

ただ今から、平成 24 年度第 2 回リニモ沿線地域づくり会議を開催する。

本日お集まりの委員の皆様方のご紹介については、時間の関係もあるので、お手元の出席者名簿、配席図にかえさせていただきます。

それでは、開会にあたり、愛知県地域振興部次長の森からごあいさつを申し上げます。

##### 1 あいさつ

##### ○愛知県地域振興次長

この 3 月 22 日、リニモの陶磁資料館南駅の隣接区域で、本県が中心となって整備を進めてきたナノレベルの計測施設「あいちシンクロトン光センター」がオープンする。

また、今年 1 月、公園西駅で長久手市が進めている区画整理事業にて家具・雑貨の大型店イケアジャパンが事業予定者に決定し大きな話題となった。

本県としても、リニモは地域づくりに欠かせない交通施設と捉え、利用促進施策に取り組んでいるところである。

さらに、県と沿線市では、住民や学生の皆様による地域活動も支援しており、本日の地域づくり会議では、各グループからその活動についてもご報告いただくこととしている。

会議では、委員の皆様から、地域のまちづくりや活性化に向けたご意見やご助言をたまり、今後の参考にしてまいりたい。よろしくご意見申し上げます。

##### 2 議題

##### (1) 愛知県・沿線市の取組について

##### ○瀬口委員長

それでは、次第に従って議題に入らせていただく。

議題(1)の、愛知県・沿線市の取組について、事務局から説明していただきたいと思う。

なお、説明に対するご意見・ご質問は、議題（１）の、事務局からの説明が終わった後に、一括して承りたいと思う。

**○事務局（愛知県交通対策課）**

資料１により説明

**○事務局（愛知県地域政策課）**

資料２から資料３－１により説明

**○瀬戸市**

資料３－２により説明

**○豊田市**

資料３－３により説明

**○日進市**

資料３－４により説明

**○長久手市**

資料３－５により説明

**○瀬口委員長**

ここまで、事務局から、先回会議における要望等への対応状況、リニモ沿線地域における県や市の取組について説明があった。

時間の関係で、駆け足での説明だったが、リニモ沿線での地域づくりの推進に向けたご意見や、ご提言をいただきたいと思う。

**○松宮委員（愛知県立大学）**

ご報告いただいたリニモの利用者数について、定期外の利用者が昨年度と比較して若干減り、伸び悩んでいる。沿線地域で多く開催されているイベントにより利用者が伸びているということや、定期利用者は伸びているということだが、日常的な住民のレベルでは利用が落ちている感じがする。こうした現象の要因について、何か把握されているのか教えていただきたい。

**○事務局（愛知県交通対策課）**

我々も定期外の利用が伸び悩んでいることを気にしており、今後もイベントをしっかりと行い、定期外の利用増に向け注力していきたいと考えている。

それとともに、沿線地域にお住まいになっている方々の利用を伸ばすため、リニモとバスの乗り換えが便利であることの周知を図る、モビリティマネジメントの手法を使って沿線地域の方々にチラシを配布する、あるいは移り住んできた方々の公共交通機関の利用に結びつくようなPR活動の実施を、今後も引き続き実施していきたいと考えている。

特に沿線の大学には、新入学生に対するリニモ利用のチラシ配布など、大きくご協力いただいていることもあり、非常に効果が上がっている。同じように定期外についても効果を出していくため、更なる努力が必要であると感じている。

○土居委員（豊田商工会議所）

2015年に愛・地球博記念公園で全国都市緑化フェアが開催される予定と聞いているが、会期や、どの程度の来場者が期待できるのか、差し障りのない範囲で、紹介いただきたい。

○事務局（愛知県地域政策課）

開催時期は平成27年秋頃となっている。期間中の来場者について、前回の開催地では数十万人程度の集客があったと聞いている。

○鈴木委員（瀬戸まるっとミュージアム・観光協会）

愛知県陶磁資料館の名称変更や、マスコットキャラクター公募の取組みは、入館者数が少ないことから実施するのであると思う。

名称が変わる平成25年6月1日が大きなタイミングであると思うが、陶磁資料館と、リニモとの連携、それから地域との連携について、どういったことが模索されているのか考えがあればお伺いしたい。

○事務局（愛知県地域政策課）

陶磁資料館とリニモの連携について、愛知県地域政策課から陶磁資料館に働きかけ、連携できるようにしていきたいと考えている。

○鈴木委員（瀬戸まるっとミュージアム・観光協会）

瀬戸まるっとミュージアムとしても、陶磁資料館は一緒になって盛り上げていかなくてはならない大事な施設であると思っている。

新年度になってからでは本当に期間がないため、早めに方針を定め、一緒になって盛り上げていきたい。

○瀬口委員長

瀬戸蔵ミュージアムで展示されているものは、過去の作品が非常に充実しているが、新しい作家のものが多くない。陶磁資料館も、そういったイメージがあったが、美術館になるともう少し集客力のある企画が期待されるのではないかと。

○井沢代理（愛知工業大学）

行政では様々なイベントに取り組んでおられるが、やはり安定した乗客という点、通勤・通学になると思う。色々な人に意見を聞くと、リニモの本数が少ないといった意見が非常に多く、学生からも同様の意見が多くあるため、リニモの本数を増加させていくような方策を検討しているかお尋ねしたい。

また、ICカードについて、平成25年3月23日から全国一斉共通化という話も出ているが、その進捗、または、動きがあれば教えていただきたい。

○澤田オブザーバー（愛知高速交通株）

本数が少ないという話について、リニモは平成25年3月16日にダイヤ改正し、学生

の利用が多い午前8時から8時半の本数を増やした。また、学生が帰る夕方の時間にも本数を増やし、学生の利便性向上を図った。他の時間帯は10分間隔で、本数を変えていないが、利用者の状況を見ながら必要があれば検討したい。

ICカードについて、現在、経営改善のための検討を、関係者・主要株主と進めており、愛知高速交通(株)としては導入の検討を進めていきたいと考えているが、今後主要株主の間でどのような判断になるかというところである。

#### ○亀倉代理（名古屋商科大学）

リニモの公園西駅は名古屋商科大学からも非常に近いエリアであり、高い関心を抱いている。この地域にイケアジャパンが進出するとのことで、イケアジャパンは車のお客が多いと思うが、この点について、どのようにリニモ沿線の地域づくりに資するように取組むのか、現在検討が進んでいることがあれば、教えていただきたい。

#### ○事務局（長久手市）

公園西駅周辺土地区画整理事業の商業事業予定者として、イケアジャパンを平成25年1月28日に選定した。

まず、この区画整理事業には約49億円の費用がかかり、そのうち、事業費の原資となる保留地の処分が23億6000万円程度を予定している。

公園西駅という飛び市街地の地域で、商業として保留地を購入していただける方がいるか、いないか、という部分が事業の根本となっており、公募によりイケアジャパンを選定し、保留地処分ができることで、事業がより確実なものとなった経緯がある。

交通の問題については、まだ出店予定者としてイケアジャパンを選定した段階であり、出店計画そのものについて、協議を始めたところである。今後関係者と協議をしながら、交通計画をより確実なものにしていきたいと考えている。リニモの活性化ということについても、事業予定者の意見や愛知高速交通(株)とも協議をしながら、また、他の地区で実施している事例なども検討し、リニモの利用促進に積極的に取り組む必要があると考えている。

さらに、もう一つの区画整理事業の目的として、環境配慮型のまちづくりがある。この公園西地区は、長久手市の環境配慮型まちづくりのリーディングプロジェクトという位置づけになっており、当地域で様々な実践を行いながら、いずれは長久手全域に環境配慮型のまちづくりを進めていきたいと考えている。そういった点からも、イケアジャパンに、環境配慮の取組みを積極的に実施していただけるよう、協議を進めている段階である。

#### ○瀬口委員長

イケアジャパンの類似の施設で、何割ぐらいのお客が公共交通を利用して来ているか、立地によって違いが出てくるかと思うが、数値があれば、紹介していただきたい。

#### ○事務局（長久手市）

リニモ沿線の、例えばアピタ長久手店では、概ね7%弱のお客さんがリニモで来店される状況である。

## (2) リニモ沿線地域づくり活動支援事業の成果発表（実施グループからの報告）

### ○瀬口委員長

議題（2）リニモ沿線地域づくり活動支援事業の成果発表に入る。

質疑応答は、3つのグループからの発表が全て終わった後に、一括して承りたいと思う。

発表に入る前に、事務局から、事業概要について説明していただきたいと思う。

### ○事務局（愛知県地域政策課）

資料4により説明

### ○「モリコロパーク de 地元グルメ」（一般社団法人仕事ノアル暮らし）

資料4-1により説明

### ○リニモ沿線合同大学祭（リニモ沿線合同大学祭実行委員会）

資料4-2により説明

### ○ゆめのノリモノ～世界の子も絵画展（NPO 法人フィール・ザ・ワールド）

資料4-3により説明

### ○瀬口委員長

3グループの発表が終了したので、質疑応答に入る。

各グループの活動に関するご感想やアドバイス、また、事務局に対しても、今後、事業を進めるうえでのご助言をいただきたいと思う。

### ○清水委員（愛知淑徳大学）

リニモ沿線合同大学祭についてお尋ねしたい。こちらは実行委員という形で、メンバーが大勢おり、また、大学祭以外にも地域での活動に精力的に取り組んでいるが、具体的にどういった活動をされているのかお尋ねしたい。

また、あちこちの地域活動の参加を頼まれるといった話があったが、依頼を受ける事務局みたいなものがあるのか、どういった形で地域の住民の方の要請や要望を拾い上げていくのかをお聞きしたい。

### ○北見（リニモ沿線合同大学祭実行委員会）

沿線の大学生は有志で募り、友達や、友達の友達が集まり、結果76名集まった。合同大学祭を開催するにあたり、まずは地域の方々をつながっていかなければならないということ考えた。そこで、実行委員が地域のイベントに参加し、いろんな地域で活動しているの方々をつながりをつくることで、その方々から直接、こっちにおいでよと言っていた。その他は、実行委員会は連絡をヤフーメールで管理しているので、そこに連絡をい

ただいて、活動に出て行ったりした。

○清水委員（愛知淑徳大学）

ヤフーメールに、アクセスするにはどうしたらよいか。また、アドレスを知らない人はどうしたらよいか。

○北見（リニモ沿線合同大学祭実行委員会）

合同大学祭のホームページを作り、ホームページにアクセスしていただいて、そこに書かれているヤフーメールに連絡していただいた。また、中日新聞などにもホームページアドレスであるとか、ヤフーメールのアドレスを載せていただいた。あとは、新聞・雑誌などは、愛知県地域政策課の電話番号を載せていたので、そちらから依頼が来ることもあった。

○清水委員（愛知淑徳大学）

地域のイベントに参加したとのことであるが、具体的にどういったイベントにどういった形で参加したのか。

○北見（リニモ沿線合同大学祭実行委員会）

平成24年11月に開催されたながくて市民まつりでは、ブース出店をしたり、ステージの司会もさせていただいた。また、平成25年3月30日にリニモクリーンを実施するが、これは、今まで何回も実施しているものであり、こちらにも参加したり、他に市民活動ではないがリニモウォーキングにも参加した。

○清水委員（愛知淑徳大学）

最後に、継続して地域とつながり続けることが大事だと思うのだが、こういったイベントはやる気のある人達が集まり、盛り上がって、その人達が卒業してしまうと、つながっていかないケースが多くあると思う。その点に関して、継続して行う方策などを考えているか。

○北見（リニモ沿線合同大学祭実行委員会）

今は実行委員の引き継ぎ期間であり、実行委員には1年生から3年生の学生も多くいるので、今回中心となった4年生の思いを後輩たち伝え、手段は後輩たちがやりたいようにやっていってもらえたらよいと思っているが、目的である助けを求めあえる町という点をぶれないようにして、今までに出会った全ての方々とつながりを途絶えさせないようにしたい。

まずは、私たちが合同大学祭を開催できたのは地域の方々のおかげなので、恩返しという形で、私たちからもアクションを起こして、地域の方々からの依頼も受けていきたいと思っている。

### ○亀倉代理（名古屋商科大学）

関連してお尋ねするが、リニモ沿線合同大学祭は非常に良い取組みであったので、もちろん学生のみなさんは一生懸命頑張っていると思うが、これがそのまま終わりにならないで、どう続いていくのかが気になっている。

こういった部分はちょっと困っている、大人や大学に助けてほしい、そういった点で感じていることがあれば教えてほしい。

### ○北見（リニモ沿線合同大学祭実行委員会）

リニモ沿線合同大学祭は来年も第2回を開催したいと思っている。今回思ったのは、リニモ沿線地域づくり調査研究会から資金面で援助をいただいたが、別に協賛も募らせていただいて、その協賛まわりがすごく大変であり、広報面でも苦労した。また、ミーティングなどの場所について、リニモ沿線合同大学祭実行委員会は現在拠点がない状況であり、電話などもなく、ほとんど愛知県立大学でミーティングを行っていた。

こうした、活動の場所・資金面・広報面の協力が必要であったので、大学にもお願いしたいと思う。

### ○鈴木委員（瀬戸市まるっとミュージアム・観光協会）

私もこの大学祭は非常に興味をもって見ていた。瀬戸市もたくさんイベントを行っており、北見さんたちもイベントの開催が目的ではないと言っておられるように、我々もイベントが地域の元気の導火線になればという思いを込めて実施している。瀬戸にもたくさんイベントがあるので、PRに使えるようなことを考えておられたら、歓迎するので、いつでも話していただけたらと思う。

また、他の2つの事業も含めて思ったことであるが、私は瀬戸市民活動の審査をしており、やはりそれぞれが皆さん立派なことを行っておられる。こうした団体同士、横が連携してイベントができると、より厚みのある活動となると思う。

行政が実施するウォーキングなど、いろんなイベントがあるが、やはり市民自らが手作りで行うイベントなどで、横のつながりを実現できる工夫を事務局側でご用意いただくことで、リニモの楽しさ、沿線の楽しさ、沿線の絆の強さを、より伝えることができると感じている。

### ○瀬口委員長

モリコロパーク de 地元グルメは、お酒の好きな人が企画しているのかなと思いながら発表を聞いていたが違った。無料配布は時間を分けて、例えば10時、12時、15時などに分けて実施すれば、来場者も平均化するかなと思う。地域の特産物を使った商品開発などの事例もあるので、それとこういうグルメイベントがくつつくと、地元の4市にとっても面白いのかなと感じた。

夢のノリモノ～世界の子どもの絵画展も、機関車の絵はなんだろうと思っていたら、ソーラーパネルを背中に背負っているのは、なかなか面白いと思った。リニモとどうつながりがあるのかとも思ったが、子どもたちにいろいろ考えてもらうことは大事だと感じる。



#### ○ご欠席の島田委員からの発言の紹介（事務局）

事務局から島田委員から文書でいただいた発言を紹介させていただきます。

「合同大学祭の学生たちと、ごく少しですが交流し、活動の様子を知ることができました。地域の多くの人々・団体との関係を育て、多くの大学の学生達がつながり、学生自身も多くのことを学び、多くの優れた学生リーダーが育ったことを知り、感動に近いものがあります。この成功の理由を記録することが大事です。また、来年度もやる気満々の学生たちへの支援のお願いを、発言させていただきたく思います。」

以上

#### ○亀倉代理（名古屋商科大学）

一つご検討いただきたい。事務局の方へのお願いとなると思うが、この地域づくりに関してフェイスブックなどによる情報発信を行っていただけるとありがたい。例えば何月何日にこういうイベントがあるとか、そういった情報が見えづらいことがある。

SNSを通じて、例えばイベントのリンクを貼ったりシェアをしたりすることによって、関係者にもっともっと広まっていくのではないかということを感じた。可能な範囲でご検討いただきたい。

#### ○事務局（愛知県地域政策課）

愛知県では、リニロコとびつくすというフェイスブックページを持っており、リニモ沿線地域に関する広報に努めているところであるが、まだまだ周知されていない部分があるかと思っている。いただいた意見を参考にし、SNSなどを用い、より充実した広報ができればよいと事務局として考えている。

### 3 その他

#### ○事務局（愛知県地域政策課）

リニモ沿線地域づくり会議は、平成25年度も引き続き開催することとし、夏頃に第1回会議を開催したいと考えている。

#### ○瀬口委員長

本日予定された議事はすべて終了した。議事の進行を事務局にお返しする。

#### ○事務局（愛知県地域政策課）

以上をもって、第2回リニモ沿線地域づくり会議を終了する。

(閉会)